



市民の安全を第一に、持続可能な消防体制を整備

令和2年9月1日

消防体制を再編します



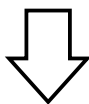
現 状 (8月31日まで)

つがる市消防署 (木造赤根1-1)

森田分署 (森田町山田米岡1-1)

稲垣分署 (稲垣町豊川藤ヶ森1-5)

車力分署 (車力町花林49)



再編後 (9月1日から)

つがる市消防署 (木造赤根1-1)

北消防署 (豊富町屏風山1-372)

稲垣分遣所 (稲垣町吉出鴨泊22-1)

消防再編とは

現在、市内では、「1消防署、3分署」(つがる市消防署、森田分署、稲垣分署、車力分署)を配置し、消防署業務に当たっていますが、9月1日から、「2消防署、1分遣所」(つがる市消防署、北消防署、稲垣分遣所)の体制に移行するものです。

これは、平成29年策定の消防署再編統合計画に基づき実施されるもので、豊富町に「北消防署」、稲垣町吉出に「稲垣分遣所」を新たに建設して運用を開始します。

なお、現在の森田分署、稲垣分署、車力分署は廃止されます。再編後は、迅速かつ円滑な現場活動に努め、今まで以上に市民に寄り添う消防を目指してまいります。ご理解とご協力をお願いします。

再編後の消防署所の配置

北消防署 豊富町屏風山1-372

配置署員 42人
配備車両 8台(ポンプ車3、救急車1、他4)

稲垣分遣所 稲垣町吉出鴨泊22-1

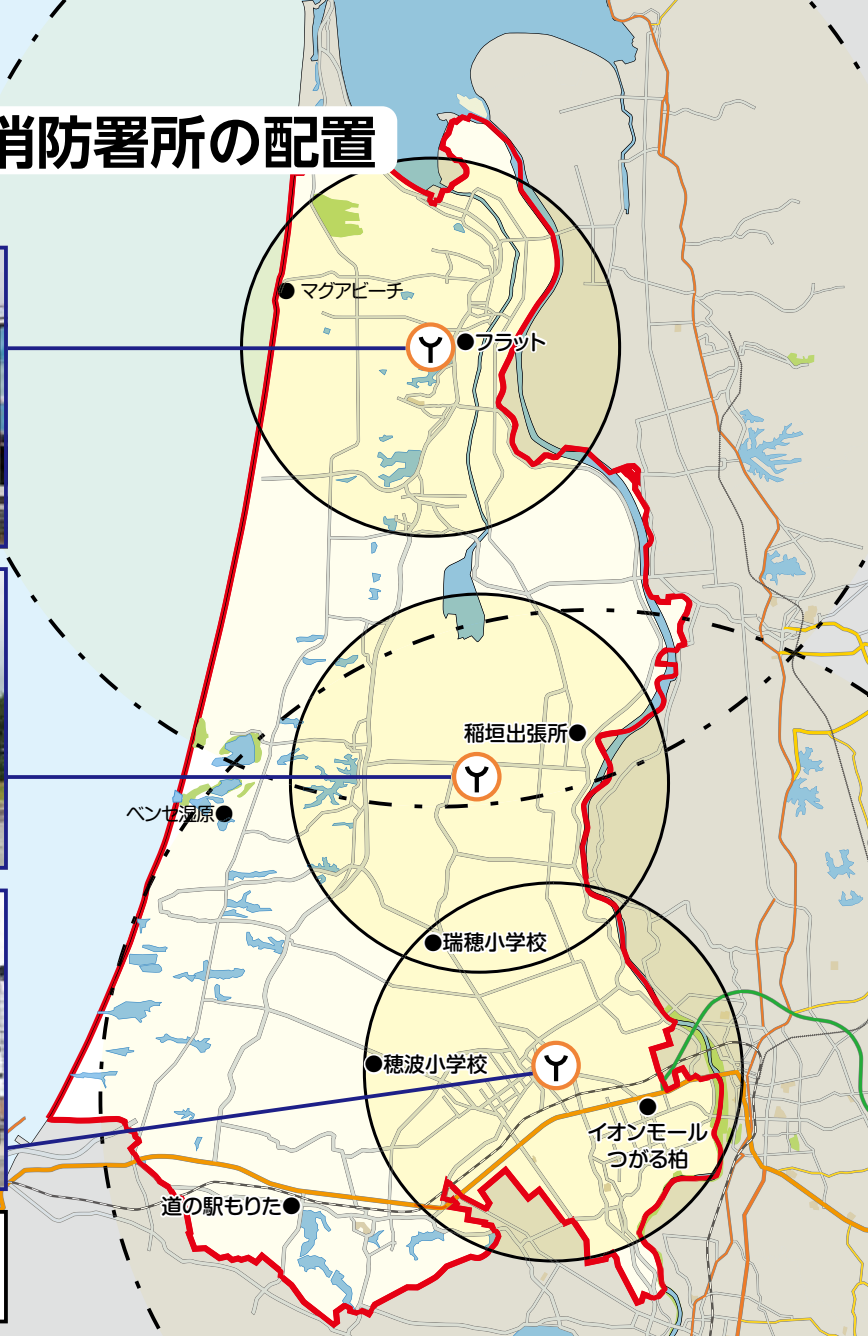
北消防署員 3人が常駐
配備車両 救急車1台

つがる市消防署 木造赤根1-1

配置署員 49人
配備車両 12台(ポンプ車3、救助工作車1、救急車2、他6)

図の凡例

- つがる市の境界線
- 約 5km圏内(到着時間約 6分圏内)
- - - 約11km圏内(到着時間約14分圏内)



●どうして再編が必要なのか

つがる市誕生後から続く著しい人口減少およびつがる市北五圏域の救急医療体制の見直しなど、消防を取り巻くさまざまな状況が変化してきました。このことから、市民の安心・安全を第一に、将来に向けて継続していける消防体制を構築するため再編を行います。

●再編によって変わること

署所数の減少や署所の位置が変わることにより、通報から現場到着までの時間が、再編前と比べ遅くなる地域と早くなる地域が生じます。

運営の面では、車両や装備などの適正化、費用の抑制などが実現されます。

なお、消防に関する届け出や相談、消防団の運用などについては、これまでと変わりありません。

●現場到着までの時間を補うために

通報から出動指令、情報共有による出動部隊の支援までを消防本部が一元的に行う「高機能消防指令システム」を平成29年に導入し、迅速・的確な消防活動を実現しています。また、ドクターヘリの運用や、通報者への的確な応急処置のアナウンスなど、命を救うための取り組みを充実させていきます。

